

各 位



2015年6月1日

会社名 J C R ファーマ株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信  
(東証1部 コード番号4552)  
問合せ先 経営戦略部長 本多 裕  
(TEL 0797-32-8591)

### 株式会社新日本科学との業務提携契約の締結に関するお知らせ

- 血液脳関門通過に関する技術 (J-Brain Cargo) を活用した医薬品の研究開発を加速する -

当社は、株式会社新日本科学（本社：東京都中央区、代表取締役会長兼社長：永田良一、以下「SNBL」という）との間において、2015年6月1日付で、業務提携契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

SNBLは、長年にわたり国内外の製薬企業から医薬品開発に関わる研究を受託しており、特に前臨床分野での毒性・薬物動態・薬効評価の経験・技術・ノウハウを豊富に有しております。また、医薬品開発に必須とされる霊長類を用いた試験を独自に確立しております。当社は血液脳関門通過に関する独自の基盤技術 (J-Brain Cargo) の技術導出にあたり、SNBLがそれらの受託業務を優先的に実施することで、他社へのライセンス供与を効率的に進めることが可能となり、さらに、高品質な研究開発を促進できると予想されることから、今回の業務提携契約に至ったものであります。

当社は、J-Brain Cargoの研究開発を進めており、自社開発品であるJR-141（血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素）へ応用しております。加えて、本技術は生理活性タンパク質や抗体等の高分子から低分子化合物までの幅広い医薬品への応用が可能で、これまで治療法の開発が待ち望まれていた中枢神経系疾患等の治療薬開発につながる可能性を考慮し、現在、他社へのライセンスも視野に入れて活動しております。

当社は今後も希少疾病治療薬のスペシャリティファーマとして、より多くの患者様の治療に貢献できるように取り組んでまいります。

なお、今回の業務提携による当社の今期業績への影響につきましては、現時点では軽微であると考えております。

以上

【語句の説明】

**J-Brain Cargo**

脳毛細血管の内皮細胞表面に発現している、あるレセプターを介して目的とする物質の脳血液関門通過を実現する技術であり、当社が実施した実験では通常の20～100倍の効率で血液脳関門を通過させることができました。

当該技術は、対象となる高分子から低分子までの薬剤に血液脳関門通過能を付与できる画期的な技術であり、静脈内投与で十分量の薬剤が脳内に到達して薬効を発揮するため、これまで改善が期待できなかった中枢神経症状を伴う病態に対し、大きな改善効果が期待されます。

参照：当社2015年4月14日付ニュースリリース

「血液脳関門通過技術を利用した新薬開発の進捗状況について」

株式会社新日本科学の概要

(1) 商号	株式会社新日本科学		
(2) 本店所在地	鹿児島県鹿児島市宮之浦町2438番地 (本社：東京都中央区明石町8-1 聖路加タワー12階)		
(3) 代表者	代表取締役会長兼社長 永田 良一		
(4) 事業内容	医薬品開発受託事業		
(5) 資本金	5,391百万円		
(6) 設立年月日	昭和48年5月18日		
(7) 大株主及び持ち株比率	大株主		持分比率
	株式会社永田コーポレーション		19.95%
	有限会社新日本産業		12.58%
	永田 良一		5.43%
	永田 貴久		5.43%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)		5.26%
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	前臨床試験の委受託	
	関連当事者の該当状況	該当事項はありません。	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態	(連結 単位：百万円)		
決算期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
連結純資産	2,782	10,515	9,643
連結総資産	32,994	39,905	40,552
1株当たり連結純資産(円)	79.04	262.29	241.17
連結売上高	17,154	16,926	17,835
連結営業利益	△1,428	△723	△636
連結経常利益	△490	△154	155
連結当期純利益	△1,152	△754	△1,385
1株当たり連結当期純利益(円)	△33.56	△20.11	△34.83
1株当たり配当金(円)	—	—	—

日程

決定日	平成27年6月1日
契約締結日	平成27年6月1日
事業開始日	平成27年6月1日